

令和6年度 重点目標とグランドデザインに係る『学校評価質問項目』に対する成果・実績・取り組み

【重点目標1】人権感覚の涵養（他者の人格を尊重し、自己肯定感の向上を図る）	関係するグランドデザイン（目指す学校像・生徒像）の番号	令和5年度学校評価報告書記載改善策	成果・実績・取り組み
＜ 学校評価質問項目 1 ＞ ○学校は、諸活動を通して、他者と協働して活動する力を育む指導を行っている。	1、3、5	・地域連携活動を持続させるために、組織的な運用に取り組む。	・地域で活躍される方を招聘・訪問して「地域の人から学ぶ」を年3回実施し、多様な価値観を共有する教育活動を提供した。今井美術館への訪問や江津市議会議員との意見交換会などでは、体験的・対話的な要素に重点を置いた活動を提供した。【教務部】 ・協働探究学習として地域企業担当者に計6回来校していただき、企業の魅力を発見する過程を通して多様な人との対話的活動を行った。【教務部】 ・生徒会および各部活動からも協力を得て通学路クリーンアップ活動を実施し、地域社会に貢献した。【生徒指導部】 ・学期末や学校行事前後のキャリア・パスポート記入に協働活動を加え、他者理解や自己理解の機会を設けた。【進路指導部】 ・実習における協働学習を実践し、コミュニケーション能力を高めた。【工業科】 ・「地域からのニーズを取り入れたものづくり」を主体とした活動を実施した（しまね海洋館アクアスハロウィンナイト、いわみん、おしごと体験イベント）他。【工業科】
＜ 学校評価質問項目 2 ＞ ○学校は、諸活動を通して、人権意識を育む指導を行っている。	5	・人権意識を高める教育活動の質を増やし、より充実させる。	・生徒・保護者・教職員を対象に、人権教育に関する「プリズン・サークル」上映会およびパネルディスカッションを開催した。【人権教育担当】 ・人権教育ホームルームを毎学期実施した。【人権教育担当】 ・「人権教育だより」を学期に1回発行し、人権意識の啓発や校内での取り組みの情報発信に努めた。【人権教育担当】 ・1年生では13単元、2年生で13単元、3年生で7単元、道德教育（人権）の視点をふまえた授業を実施した。【教務部】 ・いじめについて年間をととして生徒からの相談を受ける体制を整備し、いじめの予防および早期発見に努めた。【生徒指導部】 ・スマホの操作に不安のある方々に向けたスマホ教室を実施して、他者を思いやる心を育んだ。【MR科】 ・自己理解、他者理解の学びを深めるため、江津市ライフプラン支援事業を活用したエゴグラムの実施や、スクールカウンセラーによる教育プログラムを実施した。【保健部】

【重点目標2】学習力の向上（探究心の高揚と言語活動の充実した学習と授業）	関係するグランドデザイン（目指す学校像・生徒像）の番号	令和5年度学校評価報告書記載改善策	成果・実績・取り組み
＜ 学校評価質問項目 3 ＞ ○学校は、探究的な学びの場を与えている。	1、3、4	・地域連携活動や2年生の協働探究学習の実施においては、その目的を全校で共有して実施する。	・地域企業との協働探究学習を通して、情報活用能力の向上と課題解決プロセスについて学習を行った。【教務部】 ・3年生課題研究等において、しまね海洋館、第一稀有元素化学工業株式会社、古民家再生を通じ地域や団体との連携を図り活動を実施した。【工業科】
＜ 学校評価質問項目 4 ＞ ○学校は、生徒が自ら学習するよう指導している。	3、5	・教科における学習活動が生徒の主体的な活動になるように、宿題等を活用して学習活動を充実する。	・単元振り返りシートなどを活用し、学習の振り返りや家庭学習の充実を図ったが、家庭で十分に学習しているとは言えない状況であった。【教務部】 ・主体的に学習に取り組む態度が身につくよう、資格取得に向けた年間スケジュールを示したり、計画的に補習を実施した。（2級建築施工管理技士補、第二種電気工事士、技能検定機械保全3級 デジタル推進員 他）【工業科】 ・本年度、プログラミングソフト、3Dプリンタ、3D-CADを導入し、新しい学習環境を整備し活用した。【工業科】 ・学期末の放課後に保護者・生徒との面談週間を設定し、学校生活や学習活動の状況を伝えるとともに支援を行った。【総務部、教務部、学年部】

【重点目標3】社会人基礎力の向上（挨拶・服装・時間等社会人マナーと生きる力の育成）	関係するグランドデザイン（目指す学校像・生徒像）の番号	令和5年度学校評価報告書記載改善策	成果・実績・取り組み
＜ 学校評価質問項目 5 ＞ ○学校は、挨拶や身だしなみ、掃除の指導に力を入れている。	2、6	・生徒、教職員全体に対して、挨拶や身だしなみに関する指導の基準を共有して取り組む。	・身だしなみ指導の結果を生徒・教職員全体に周知し、現状を共有した。【生徒指導部】 ・新生徒会のもとで、年度内に校則について協議し、必要に応じてその見直しを検討する予定である。【生徒指導部】 ・1・2年生対象の企業・学校、官公庁の説明会を開催し、企業理解をすすめるとともに、進路選択の手がかりとなる機会を設けた。【保健部】 ・清掃時間に音楽を流すことにより、清掃の意識づけができた。【保健部】 ・毎月の部活動ゴミ出し日の設定により、ゴミの分別と整理ができた。【保健部】
＜ 学校評価質問項目 6 ＞ ○学校は、時間の管理と計画的な行動ができるよう指導している。	2、5	・授業の準備や課題の提出期限を生徒が主体的に守ることができる環境づくりに保護者と連携して取り組む。	・提出物の整理が苦手な生徒などについて、生徒育成委員会を毎月開催するとともに、インクルーシブ教育推進員、合理的配慮アドバイザー、スクールカウンセラー、特別支援教育コーディネーター、養護教諭等が連携し、支援方法を検討した。【保健部】 ・作業が伴う授業において、生徒自身の作業能力の把握と改善に向けた指導を行った。 ・実習前のミーティングで、授業の流れや課題等の締切について共通認識を図っておくことで、時間を意識した行動がとれるようになった。【工業科】
＜ 学校評価質問項目 7 ＞ ○学校は、危険予知能力と技術力・判断力が身につくよう指導している。	7	・生徒による安全点検や実習作業のリスク評価の実施、外部講師による講話等を充実する。	・生徒による安全点検活動を実施し、危険予知能力を育成した。 ・5月16日の学校安全の日に講演会を開催して学校安全の日を周知するとともに、安全について深く考えた。【総務部・保健部】 ・学校安全の日に「命の大切さを学ぶ教室」を開催し、日頃の安全意識を高めた。【生徒指導部・総務部】

【重点目標4】キャリア教育の充実（進路保障と地域産業界との連携）	関係するグランドデザイン（目指す学校像・生徒像）の番号	令和5年度学校評価報告書記載改善策	成果・実績・取り組み
＜ 学校評価質問項目 8 ＞ ○学校は、生徒の進路意識を高める指導を行っている。	1、3、4	・しまねの高校生学力育成事業を活用し、数学や英語の補習および各種見学を充実させ、生徒の進路意識を高める。	・1年生において広島工業大学の大学見学を行うとともに、1・2年生の希望者対象に島根大学のオープンキャンパスに参加し、多様な進路選択肢を提供した。【進路指導部】 ・3年生対象の企業説明会を開催したり、浜田・江津地区の合同企業説明会に参加し、進路意識の高揚につなげた。【進路指導部】 ・1・2年生対象の企業・学校、官公庁の説明会を開催し、企業理解をすすめるとともに、進路選択の手がかりとなる機会を設けた。【進路指導部】 ・キャリア・パスポートを活用し、学期ごとに振り返りを行うことによって、自己の成長や強み、適性を認識する手立てとした。【進路指導部】 ・展示用企業ブースのメンテナンスに努め、企業理解に活用した。【進路指導部】
＜ 学校評価質問項目 9 ＞ ○学校は、資格検定指導、面接指導など進路実現に向けた指導を行っている。	1、3、4	・進学や資格取得に関する補習を組織的かつ計画的に推進する。	・進路の手引きを作成し、全学年に配布し、3年間の見直しを持てるようにした。【進路指導部】 ・求人票管理システムを活用し、どこでもいつでも求人票を閲覧できることで、進路選択の一助とした。【進路指導部】 ・数学ではITを導入して授業における生徒の学びの支援を20時間行った。また、英語では資格取得支援を充実するため、放課後の補習授業を29時間行った。【教務部】 ・資格試験に向けての学習活動を実施した。【工業科】 ・2級建築施工管理技術検定や技能検定に向けて、外部指導者と協力しながら学習活動に取り組んだ。【A E科】 ・資格指導や進路指導を関係教員で連携して実施した。【工業科】

【重点目標5】学校の活性化（生徒募集と部活動の魅力化・活性化）	関係するグランドデザイン（目指す学校像・生徒像）の番号	令和5年度学校評価報告書記載改善策	成果・実績・取り組み
＜ 学校評価質問項目 10 ＞ ○学校は、教育活動や部活動、地域とのかかわりを常に発信している。	4	・「コウギョウを見に行こう」や「オープンスクール」等の活動についての組織的な取り組みと、保育園、小学校、中学校への積極的な紹介を実施する。	・HPやSNSを4月から12月の間に約250回更新した。【工業科・総務部】 ・コウギョウを見に行こうを3回、サマースクールを3日間、通常行われるオープンスクールとは別に「いわみん」6テーマを実施した。これらを通して地域や異校種との連携と情報発信を行った。【教務部】 ・各種イベント参加を通して、協働的な活動や地域の魅力、地域に貢献する奉仕の精神を学んだ。【教務部】 ・課題研究や地域イベントでは、生徒主体で地域の方々と協働的な活動することで工業での学びを発信することができた。【工業科】 ・ホームページ・メッセージを通じて情報提供した。【総務部】 ・文化祭をしまね海洋館で開催した。【生徒指導部】 ・石見ケーブルビジョン「レンタルかねこ」で体育祭を紹介した。【生徒指導部】
＜ 学校評価質問項目 11 ＞ ○学校は、生徒の安全を考えた環境整備を行っている。	4	・優先順位をつけて、計画的に環境整備を行う。	・修繕予算には限りがあるため、生徒や教職員の安全に関わるもの、教育活動に必要な不可欠なものを優先して修繕に取り組んだ。 ・生徒による校内安全点検を実施することで危険予知に関する訓練を実施した。【総務部・保健部】 ・安全点検後の積極的な修繕を行った。【保健部・事務部】

グランドデザイン（目指す学校像・生徒像）

番号	項 目
1	地域産業を担う人材を育成するための実践的教育を行う工業高校
2	規範意識と社会性を身につけ、積極的に社会に貢献する人材を育成する工業高校
3	生徒自身が自らの成長を実感できる工業高校
4	地域社会から必要とされ、保護者の期待に応えうる工業高校
5	自立・協働・創造の資質と人権感覚を持った実践力を身につけた人
6	5 S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）活動ができる人間力を身につけた人
7	K Y（危険予知）能力と技術力・判断力を身につけた人